

# 平成 26 年度事業計画および収支予算

平成 26 年 5 月 16 日



北 陸 経 済 連 合 会

第三次中期アクションプラン(H23～27年度)の3年目となる平成25年度は、与党内で北陸新幹線敦賀延伸の工期短縮に向けた議論が開始されたことを始め、高規格幹線道路整備に一定の進展があった。

また、北陸新幹線の金沢開業(平成26年度末)に合わせて、平成27年秋の開催が決定している「北陸デスティネーションキャンペーン※」(DC)の実行委員会が設置され、当会も参画している。並行在来線会社についても開業に向けた取り組みが着実に進められている。

一方、安倍政権の発足以来、経済再生に向けた金融政策、財政政策や成長戦略の策定などにより、我が国の経済は回復基調にある。しかしながら、不安定な電力供給とエネルギーコストの上昇により、国際競争力の低下と産業の空洞化への影響が顕在化している。

平成26年度は、これまでの取り組みの評価と社会経済をとりまく環境変化を踏まえ、引き続き、災害に強い強靱性を兼ね備えた国づくり、地域産業の競争力強化や、北陸新幹線の金沢開業効果の最大化に向けて、以下の活動を中心とした取り組みを進める。

「社会インフラ整備」では、北陸地域の自立発展・代替補完機能の発揮に向けた北陸新幹線の整備促進を始め、高規格幹線道路におけるミッシングリンクの解消に引き続き取り組む。

「広域観光の推進」では、北陸地域の活性化のため、首都圏等へのPR・誘客活動に取り組むとともに、北陸三県が一体となったDC実行委員会に参画し、活動を強化していく。

「産業振興」では、産学官連携によるイノベーションの創出と企業間連携を支援する活動を充実する他、企業誘致に向けた大都市圏でのPR活動を継続する。

「国際経済交流」では、企業活動の国際化に資する調査研究、情報発信等に引き続き取り組む。

「地域力向上に向けた取り組み」では、少子高齢化、財政悪化等の厳しい状況を踏まえて地域の持続的発展に向けた取り組みを行う。

エネルギー政策に関しては、原子力を将来に亘って一定の割合で活用していくことが必要であり、最適なエネルギーミックスの策定や、安全性が確認された原子力発電所の速やかな再稼働を要望していく。

※ デスティネーションキャンペーン

JRグループ旅客6社と、指定された自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーン

## 【重点施策】

### 1. 総合対策委員会

- (1) 北陸地域の自律的・持続的な発展に向けての取り組み推進  
・平成27年度政府予算等に対する要望活動の実施
- (2) 行政当局・政党との懇談会等の実施

### 2. 社会基盤整備委員会

- (1) 敦賀延伸の大幅な工期短縮に向けた取り組み
- (2) 大阪までのフル規格による全線整備に向けた取り組み
- (3) 並行在来線の安定経営に向けた国やJRの支援施策の検討・要望
- (4) 高規格幹線道路の整備促進に向けた取り組み

### 3. 広域観光推進委員会

- (1) 首都圏でのイメージアップイベントの拡大実施  
・首都圏の交通事業者と連携した北陸PRイベントの実施
- (2) 北陸三県の官民共同による北陸デスティネーションキャンペーンの開催  
・北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会への参画
- (3) 外国人観光客向け情報の発信、誘客活動の実施

### 4. 先端技術推進委員会

- (1) 産学官の連携強化によるイノベーション創出への支援  
・大学との連携強化による新産業創出の支援  
・「北陸ライフサイエンスクラスター」等、支援機関や自治体等と連携した地域・産業振興への支援
- (2) 新規事業の発掘  
・新規事業の発掘や付加価値の向上を図る異業種・異分野の企業間技術交流の支援
- (3) 「北陸フォーラム」等を通じた北陸への企業誘致の推進

### 5. 国際交流推進委員会

- (1) 東アジア市場をターゲットにした企業の取り組みの支援  
・企業の国際化に関する調査、国際化展開に資する勉強会・セミナーの実施
- (2) 東アジア諸国との経済交流の実施  
・第15回北陸(日本)・韓国経済交流会議の開催

## 【事業計画】

### I 災害時、命を守り、代替補完機能を担うための社会インフラ整備 [社会基盤整備委員会]

#### 1. 北陸新幹線の建設促進に向けた支援・要望活動

- (1) 敦賀延伸の大幅な工期短縮に向けた取組み
  - ・自治体等と連携した政府・与党等に対する要望（早期開業効果等）
- (2) 大阪までのフル規格による全線整備に向けた取組み
  - ・関経連等と連携した政府・与党等に対する要望活動
  - ・敦賀以西3ルートの検討のための情報収集、課題の整理

#### 2. 並行在来線の課題対策への支援

- (1) 並行在来線の安定経営に向けた国やJRの支援施策の検討・要望
  - ・並行在来線の安定経営、利用者の利便性向上に向けた、国等に対する要望活動

#### 3. 高規格幹線道路の整備促進に向けた要望活動

- (1) 中部縦貫自動車道・舞鶴若狭自動車道・能越自動車道の早期全線開通の要望、東海北陸自動車道の四車線化の要望
  - 〔未着手区間〕 中部縦貫自動車道：大野 IC－大野東 IC  
能越自動車道：田鶴浜 IC－七尾 IC  
東海北陸自動車道：飛騨清見 JCT－小矢部砺波 IC
- ・主催行事や西日本経済協議会等での国交省等に対する、代替補完機能等をアピールする要望活動

#### 4. 港湾・空港の活性化

- (1) 北陸の港湾連携の推進
  - ・北陸地域国際物流戦略チーム広域バックアップ専門部会への参画（事務局：北陸地方整備局）
  - ・港湾関係者との勉強会の開催

## Ⅱ 広域観光推進による産業の活性化 [広域観光推進委員会]

### 1. 北陸の認知度向上、魅力・満足度向上に向けた取組み

[関連組織：北陸イメージアップ推進会議]

- (1) 首都圏でのイメージアップイベントの拡大実施
  - ・首都圏の交通事業者と連携した北陸PRイベントの実施<強化>
- (2) 北陸物語 HP・Facebook を活用した継続的な情報発信
  - ・運営体制の整備・見直しによる情報発信力強化
- (3) 人脈を活用した積極的なセールスプロモーション
  - ・首都圏旅行会社等へのキャラバン等

### 2. 北陸三県が一体となった広域観光の推進

- (1) 北陸三県の官民共同による北陸デスティネーションキャンペーンの開催<強化>
  - ・北陸デスティネーションキャンペーン実行委員会への参画
- (2) 北陸広域連携プロジェクトチームによる広域観光推進策の検討

### 3. インバウンド観光の推進

- (1) 外国人観光客向け情報の発信、誘客活動の実施
  - ・「北陸物語 Facebook」英語版の検討・インターネットによる発信
  - ・「西日本広域観光ルート検討会（西日本経済協議会）」への参画
  - ・「昇龍道プロジェクト推進協議会（北陸信越運輸局・中部運輸局等）」への参画

### Ⅲ 産業振興 [先端技術推進委員会]

#### 1. 産学金官の連携強化によるイノベーション創出への支援

- (1) 北陸地域の産業競争力の一層の強化に向けた産学金官連携の支援
  - ・ 大学との連携強化による新産業創出の支援<強化>
  - ・ 「北陸ライフサイエンスクラスター」等、支援機関や自治体等と連携した地域・産業振興への支援
- (2) 新規事業の発掘
  - ・ 新規事業の発掘や付加価値の向上を図る異業種・異分野の企業間技術交流の支援<強化>
- (3) 人材育成・技術力向上
  - ・ 先進技術や高度情報化に関する意見交換会の開催
  - ・ 産業競争力強化に関する講演会やセミナーの開催
- (4) 市場開拓や開発パートナーの発掘
  - ・ 「北陸技術交流テクノフェア」等での企業・大学の先進的技術紹介

#### 2. 新産業創出や産業競争力強化に資する調査研究や提言

- (1) 新産業創出に向けた調査研究
  - ・ 北陸が有するロボット技術やEV技術を活用した新産業の創出  
「次世代ロボット研究会・北陸」「コンバートEV<sup>\*</sup>事業化研究会」の運営〔北陸産業活性化センターとの共催〕  
(※ コンバートEV：ガソリン車の電気自動車化)
  - ・ 更なる新産業創出に向けた調査研究  
(例：ライフサイエンス、高機能新素材、ICT活用サービス等)
  - ・ 北陸地域の優れた技術力をもつ企業のPR

#### 3. 企業誘致の推進 [関連組織：北陸国際投資交流促進会議]

- (1) 大規模産業展示会への出展を通じた国内企業の誘致
  - ・ 「シーテック（東京）」、「メッセナゴヤ（名古屋）」等の出展
  - ・ 第4回「北陸フォーラム（東京）」の開催
- (2) 海外からの投資促進に向けた情報発信
  - ・ 「北陸統一ブランド」の活用によるPRの実施

#### IV 国際経済交流 [国際交流推進委員会、関連組織：北陸AJEC]

##### 1. 東アジア市場をターゲットにした企業の取組みの支援

- (1) 会員ニーズに基づいた情報提供、調査事業の実施
  - ・企業の国際化に関する調査、国際化展開に資する勉強会・セミナーの実施

##### 2. 東アジア諸国との経済交流の実施

- (1) 東アジアの企業、経済団体等との定期交流、商談会等の実施
  - ・第15回北陸(日本)・韓国経済交流会議の開催(石川)

#### V 地域力の向上に向けた取り組み [総合対策委員会]

##### 1. 国等に対する提言

- (1) 政策要望活動の実施
  - ・平成27年度政府予算等に対する要望活動の実施
- (2) 行政当局・政党との懇談会等の実施
  - ・中部・近畿経済産業局および北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会開催
  - ・地元選出国會議員との懇談会実施
- (3) 提言に向けた調査・研究活動の実施
  - ・エネルギーのベストミックス、再生可能エネルギーの導入等に関する調査・研究

##### 2. 活力あふれる自立した北陸圏づくりの推進

- (1) 第三次中期アクションプランのPDCAの実践による継続的な改善
  - ・第四次計画策定に向けた基礎調査の実施
- (2) 北陸圏広域地方計画の実現に向けた取組みおよび国・3県の活動のフォロー
  - ・北陸地域の防災支援・地域づくりの検討会議への参画等

##### 3. 低炭素社会の形成に伴う環境ビジネス創出の支援

[関連組織：北陸環境共生会議]

- (1) 低炭素社会の形成など、新たな課題への取組みの支援
  - ・北陸三県環境フェアへの出展
  - ・北陸三県の企業・行政・NPO交流会の実施

## 平成26年度 北経連 収支予算(案)

(平成25年度 予算対比)

(収入の部)

(単位:円)

	平成25年度	平成26年度	差引(B-A)	摘 要
	予算額(A)	予算額(B)		
会費	79,470,000	80,110,000	640,000	
協力金	700,000	700,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	
引当金戻入	0	0	0	
前年度繰越金	17,181,880	15,678,429	▲ 1,503,451	
合計	97,401,880	96,538,429	▲ 863,451	

(支出の部)

(単位:円、摘要は万円)

	平成25年度	平成26年度	差引(B-A)	摘 要 (万円未満 切り捨て)
	予算額(A)	予算額(B)		
事業費	46,050,000	53,590,000	7,540,000	
委員会活動費	21,450,000	27,490,000	6,040,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合対策委員会 400万円</li> <li>・ 社会基盤整備委員会 460万円</li> <li>・ 先端技術推進委員会 660万円</li> <li>・ 広域観光推進委員会 949万円</li> <li>・ 国際交流推進委員会 230万円</li> <li>・ 広報・組織基盤委員会 50万円</li> </ul>
連携活動費	24,600,000	26,100,000	1,500,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員懇談会等 580万円</li> <li>・ 他経済団体との懇談会等 460万円</li> <li>・ 行政との懇談会 180万円</li> <li>・ 支援団体への支援(北陸AJEC等) 685万円</li> <li>・ その他事業費 705万円</li> </ul>
会議費	3,660,000	4,160,000	500,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会費 300万円</li> <li>・ 常任理事会、理事会費等 116万円</li> </ul>
人件費	10,900,000	10,100,000	▲ 800,000	
事務費	18,300,000	17,950,000	▲ 350,000	
引当金	2,700,000	1,700,000	▲ 1,000,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西経協総会引当 (H29) 100万円</li> <li>・ 情報機器引当 50万円</li> <li>・ 退職給与引当 20万円</li> <li>・ 新幹線開業関連事業引当 0万円</li> </ul>
予備費	15,791,880	9,038,429	▲ 6,753,451	
合計	97,401,880	96,538,429	▲ 863,451	